

アートミーツケア学会

2008年度総会・大会

呼吸する〈からだ〉と〈こころ〉

日程：2008年12月13日[土]，14日[日]

会場：アートエリアB1(京阪中之島線なにわ橋駅地下1階コンコース内)

主催：アートミーツケア学会

共催：大阪大学コミュニケーションデザイン・センター

アートとケアの交差点で、さまざまな人々が出会い、ともに考えるアートミーツケア学会。

今回、出会いの場に相応しく、大阪に生まれたばかりの駅内のスペースにて本年度の大会を開催いたします。

「呼吸する〈からだ〉と〈こころ〉」を大会のテーマに、〈からだ〉と〈こころ〉をつなぐ創作活動や実践について、ゲストを迎え、講演とパネルディスカッションを通して考えます。

また、2日目には、会員・非会員から応募された自主企画による分科会と研究・実践発表を行い、アートとケアにまたがるさまざまな問題について、参加者全員で意見を交わします。

みなさんとともに、実りある大会をつくっていきたいと思います。

●13日[土]13時30分～18時

基調講演：「誰かとともにあるからだ」

西村ユミ(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター准教授)

パネルディスカッション：「やわらかな身体をつくるアートの力」

五島智子(Dance&People代表)

志賀玲子(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任教授)

清田仁之(NPO法人月と風と代表)

●14日[日]10時15分～16時

総会、研究発表、実践発表、自主企画(分科会)

同時開催

井上廣子 写真彫刻展「Inside-Out 2008 いのちと向き合う」

第1日目 12月13日[土]

プログラム

12:30- 受付開始

13:30-13:45 開会・あいさつ

13:45-14:45 基調講演 「誰かとともにあるからだ」

60分
他者に手を差し伸べることを「ケア」と呼ぶのであれば、この営みは、「誰か」の苦しみや痛みなどに応じる「私」のふるまい。この差しのべられる手は、誰かを「助けるために向かっていく」ことに先だって、誰かの苦しみに「促されて」、誰かの痛みそのものを「現わして」しまっている。他者の苦しみを現わす、誰かとともにあるからだ。しかし、いつもそのことは、気づかれずに素通りされる。からだの現れの場に踏みとどまり、その現われ自体に出会いなおしてみたい。

西村ユミ（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター准教授）

2000年日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士後期課程修了。専門は看護学。

14:45-15:00 休憩

15:00-17:00 パネルディスカッション 「やわらかな身体をつくるアートのか」

120分
私たちが行っているケアは、生きる諸々の技術の総和だが、アートはそれらの技術を結びつけるきっかけになる。あらゆる技術にアクセスしていき、やわらかな身体をつくるのにアートをどういかしていけばいいのか、について考える。

五島智子（Dance&People代表）

舞踏グループ白虎社の活動後、様々な職を経てDance&People設立。ある脳性マヒ女性の介護経験を機に「介護はダンスだ！」等ワークショップの企画制作を開始。多様な身体が出会い、やり取りできる（ワークショップや公演等の）環境作りに取り組む。

志賀玲子（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任教授）

専門はコンテンポラリー・ダンスを中心とする舞台芸術企画製作。兵庫県伊丹市立アイホールプロデューサー、滋賀県立びわ湖ホール舞踊アドバイザー、びわ湖ホール夏のフェスティバルプログラムディレクター等を歴任。

清田仁之（NPO法人月と風と代表）

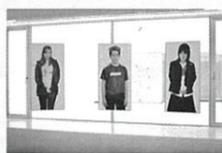
劇団員、一般企業サラリーマン、NPOスタッフを経て、しょうがいのある人へのヘルパー派遣の事業所を立ちあげる。ヘルパー派遣だけでなく、地域の人としょうがいのある人をつなぐアートプロジェクトを実施。

コーディネーター：播磨靖夫（財団法人たんぼぼの家理事長）

17:00-18:00 交流会

60分

同時開催 12月13日(土)~14日(日)



井上廣子 写真彫刻展 「Inside Out 2008 いのちと向き合う」

目を閉じた半身像は、井上さんが世界各国で出会った同じ問題を抱えている子どもたち。他者と自分との関係を探る作品を展示します。

井上廣子（美術家）

1995年の阪神淡路大震災以後、人間の内奥に刻まれた傷について多面的にとらえた作品を制作。2005年度文化庁文化交流使としてオーストラリア、ウィーンに滞在中、オットーワーグナー精神病院ユーゲンシュテール・テアターで「Inside-Out」展を開催。

第2日目 12月14日[日]

10:10- 受付開始

10:15-10:45 アートミーツケア学会2008年度総会

10:45-12:30 プレゼンテーション 応募者による研究発表・実践発表

120分
発表者募集
●応募資格：会員、未会員にかかわらず、どなたでも応募できます。
関心のある方は事務局までお問い合わせください。
●エントリー方法、期限：募集要項をウェブサイト（artmeetscare.seesea.net）からダウンロードし、必要事項を記入のうえ、11月18日(火)までにエントリーしてください。

12:30-13:30 休憩

13:30-15:30 分科会

120分
分科会1「他者の痛みへの共感」
他者だけでなく、自分の身体にさえ鈍くなっている私たちは、他者の痛みに向き合うことができるのか。混沌の社会に生きる若者をうつした写真とともに、生きることの根拠と表現のかかりについて考える。
井上廣子（美術家）
秋田光彦（浄土宗大蓮寺・應典院住職）

分科会2「アートが開く身体感覚と他者性をめぐってのワークショップ」

アートとケアの出会いに、他者と繋がる開かれたハートフルな身体感覚が認められる。この身体が開く気づきをテーマに、身近なものをを用いたアートワークショップによる「きもち」と「かたち」と「いのち」を巡っての可能性や発展性について感じ考えてみたい。
水野哲雄（京都造形芸術大学こども芸術学科教授）

分科会3「美は心・身体・生命をつなぐ」

美が心に与える影響、変化、そこから生まれるコミュニケーションとターミナルケアとしての美の関わりを、高齢者、障害者施設での事例を通し、実際に各自が実技を体験したうえで、人間の生命、ケアの現場におけるアートの必要性を考えながら交流をふかめる。
及川麻衣子（山野美容芸術短期大学講師）

分科会4「笑いという生の技術」

自分を笑い、他人を笑わせる「笑い」という生の技術（アート）の可能性をみなさんとともに、実際に演じられるコントをまじえながら考える。主なテーマ：自分や他人の「弱さ」、病、障害を笑うことについて。
高橋綾（大阪大学コミュニケーションデザインセンター招聘研究員）
尾崎日菜子（工場労働者）

15:30-16:00 まとめにかえて

30分 鷺田清一（大阪大学総長）

関連企画

12月12日(金)
19:00~21:00

中之島哲学コレージュ：セミナー4「からだは考える」

講師：佐久間新（舞踊家）、玉地雅浩（藍野大学医療保健学部理学療法学科准教授）
カフェマスター：本間直樹（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター准教授）
会場：アートエリアB1（京阪電車中之島線なにわ橋駅地下1階コンコース）
定員：50名（先着順／出入り自由）
内容：ジャワ舞踊家の佐久間新さん、理学療法士の玉地雅浩さんをお招きし、みんなで実際にからだを動かしながら、普段は気づかないからだの感覚について話し合ってみましょう。
主催：Cafe Philo、大阪大学文学研究科臨床哲学研究室、大阪大学 CSCD
お問い合わせ：info@cafephilo.jp

参加申込方法

	一般（学会員）	学生（学会員）
両日参加	2,000円（1,500円）	1,500円（1,000円）

1. 参加費をご入金ください。

郵便振替 00920-4-252135 加入者名 アートミーツケア学会

2. 下記の申し込みフォームに必要事項をご記入のうえ、学会事務局までE-mailまたは、FAXにてお申し込みください。ウェブ上でも受け付けております。

3. お申し込み完了となります。当日は受付でお名前をお知らせください。

申し込み期限 12月6日(土) 定員120人になりしだい、締め切ります。

※いったんご入金いただいた参加費は、原則としてご返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

お申し込み・お問い合わせ

アートミーツケア学会 [事務局] 〒630-8044 奈良市六条西3-25-4 財団法人たんぼぼの家

Tel.0742-43-7055 Fax.0742-49-5501 E-mail:art-care@popo.or.jp URL:http://artmeetscare.seesaa.net

参加申し込みフォーム

お名前(ふりがな)

所属等

参加区分 一般未会員 一般会員 学生未会員 学生会員

参加日程

12月13日(土)プログラム第1日目に参加 12月14日(日)プログラム第2日目に参加

14日午後の分科会の参加希望 分科会1 分科会2 分科会3 分科会4

ご連絡先

Tel.

Fax.

E-mail.

通信欄

会場



京阪電車 なにわ橋駅
アートエリアビーワン

artarea-b1.jp

【アクセス】

京阪電車中之島線「なにわ橋駅」地下1階コンコース
(地下鉄「淀屋橋駅」「北浜駅」から徒歩約5分)

【問い合わせ先】

京阪電車お客さまセンター TEL.06-6945-4560
(平日9時～19時、土休日9時～17時)

※ 会場の「アートエリアB1」は駅コンコースを利用したスペースですので、暖房設備等が十分ではありません。暖かい御召し物でお越しください。

アートミーツケア学会のご案内

人間の生命、ケアにおけるアートの役割を研究する場として、またアートの力を社会にいかしていくためのネットワークとして、2006年に設立しました。ぜひ、ご入会いただき、研究や活動にご参加ください。

【会長】

髙田清一（大阪大学総長）

【副会長】

畑祥雄（関西学院大学教授）

【常務理事】

播磨篤夫（財団法人たんぼぼの家理事長）

【理事】

秋田光彦（浄土宗大蓮寺・應典院住職）

片井修（京都大学大学院情報学研究所教授）

グロッセ世津子（有限会社みどりのゆび代表）

塩瀬隆之（京都大学総合博物館准教授）

関口怜子（ハート&アート空間 Be-I 代表）

ブルース・ターリング（九州保健福祉大学教授）

銅金裕司（メディアアーティスト）

鳥海直美（千里金蘭大学人間社会学部人間社会学科専任講師）

中川真（大阪市立大学大学院文学研究科教授）

並河恵美子（NPO 法人芸術資源開発機構代表）

本間直樹（大阪大学コミュニケーションデザインセンター・大学院文学研究科准教授）

的場政樹（医療法人直志会袋田病院院長）

見寺貞子（神戸芸術工科大学教授）

森田ゆたか（NPO 法人アーツ・プロジェクト代表）

森田ゆかり（金城大学短期大学部講師）

山口悦子（大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学病院講師）

横川善正（金沢美術工芸大学教授）